

お茶料理研究会 トルコ茶産地の旅 【2013年8月25日～9月1日】



日付	発/着	時間	交通	内容	宿泊
8/25 (日)	成田 イスタンブール	11:55 18:00	TK-051 専用車	トルコ航空 51 便にてイスタンブールへ (所要時間 12 時間 5 分) アタテュルク国際空港到着後、ホテルへ	イスタンブール
8/26 (月)	イスタンブール トラブゾン リゼ	13:05 14:45	専用車 TK-2828 専用車	朝食(ホテル)後、専用車で空港へ 国内線でトラブゾンへ 到着後、スュメラ修道院の見学 お茶の産地リゼへ 夕食(ホテル)	リゼ
8/27 (火)	リゼ		専用車	朝食(ホテル) 終日、リゼ地区のお茶研修 (チャイクル社研究所、茶工場、茶園見学など) 昼食(レストラン) 夕食(ホテル)	リゼ
8/28 (水)	リゼ トラブゾン アンカラ カッパドキア	11:20 12:40	専用車 TK-7061 専用車	朝食(ホテル)後、専用車でトラブゾンへ 国内線でアンカラへ 到着後、昼食(レストラン) アナトリア文明博物館を見学後、カッパドキアへ 夕食(ホテル)	カッパドキア
8/29 (木)	カッパドキア		専用車	朝食(ホテル)後、専用車でカッパドキア観光 昼食、夕食はレストランにて (ギョレメ野外博物館、地下都市、奇石など)	カッパドキア
8/30 (金)	カッパドキア ネブシェヒール イスタンブール	09:05 10:25	専用車 TK-2007 専用車	朝食(ホテル) 専用車でネブシェヒール空港へ 国内線でイスタンブールへ 到着後、昼食(レストラン) イスタンブール市内観光(アヤソフィア大聖堂、 ブルーモスク、グランドバザール) 夕食(レストラン)	イスタンブール
8/31 (土)	イスタンブール	17:10	専用車 TK-050	ホテルで朝食後、トプカプ宮殿の見学 昼食(レストラン) 午後、専用車でアタテュルク国際空港へ トルコ航空 50 便にて成田へ (所要時間 11 時間 15 分)	機内泊
9/1 (日)	成田	10:25		成田空港到着、入国審査・通関後、解散 お疲れ様でした。	



トルコにおける紅茶の栽培・製造について



リゼの茶園



茶摘みの様子（ハサミ摘み）



摘採した茶葉



茶工場に運び込まれる茶葉



国営 CAYKUR 社の工場（リゼ）



工場内のラインに運ばれた茶葉



萎凋



揉捻



ローターパン



発酵



乾燥



ふるい分け



製品（トルコ紅茶）

CAYKUR 社の緑茶製造ライン





CAYKUR 社の研究所の前で



CAYKUR 社の研究所からリゼの街と黒海を臨む

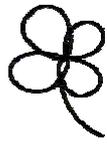


Saziye ILGAZ 氏よりトルコ茶についての説明を聞く



CAYKUR 社でいただいたチャイ





トルコのチャイについて



リゼの街のチャイ屋さんの印



リゼのチャイ屋さん



チャイ



パン屋さんの従業員用のチャイ



リゼのチャイ屋さん



早朝、リゼの街角でチャイを飲む人々



イスタンブールのホテルのチャイ



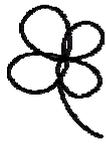
アタテュルク国際空港のチャイ屋さん



CAYKUR 社の紅茶缶ドリンク



イスタンブールのスーパーマーケットで売られているチャイや紅茶缶ドリンク



トラブゾン・カッパドキアにて



トラブゾンのスメラ修道院（標高約 1200m）



スメラ修道院のフレスコ画



カッパドキアの奇石「三姉妹」



早朝のカッパドキアのパルーン観光の風景



トルコ絨毯を織る女性（カッパドキアにて）



平山郁夫デザインのトルコ絨毯





イスタンブールにて



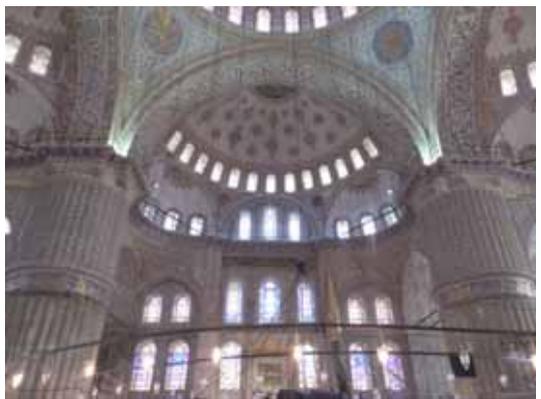
アヤソフィア大聖堂



アヤソフィア大聖堂のモザイク画



ブルーモスク



ブルーモスク内



トプカプ宮殿



ボスポラス海峡を背に



旅の後に・・・

8月末にリゼのCAYKUR社の研究所を訪れた際、CAYKUR社の総裁らが9月に日本を訪問するとお話しをされていました。9月に入り、総裁らが掛川を訪れた記事が中日新聞(2013/9/6)に掲載されました。

(資料：お茶料理研究会会員提供)

トルコ国営製茶企業総裁ら
お茶香水や急須に興味

2013
9
6
中日新聞



掛川市長と懇談
茶業視察のため掛川市を訪れているトルコ国営の製茶企業チャイタル社のストウルオル

・イムダット総裁ら三人が五日、同市役所で松井三郎市長と懇談した。

松井市長は「今回を機にお茶を通したトルコと掛川市の交流を進めていければ」とあいさつ。

同総裁らは贈られたお茶を使った香水や急須の使い方などに興味を示しながら、「温かい歓迎ありがとう。お茶に関した産業や文化の交流を進めたい」と話した。

掛川市の製茶機械販売影山淳さんによると、トルコの茶生産量は十九万八千ト(二〇〇九年)で、一人当たりの消費量は年間約二キとともに世界の上位クラス。同社はトルコ全体の55%に当たる荒茶生産量があるとい、親交のある影山さんの仲介で三日に来日した。掛川市などの製茶会社や工場、茶業研究センターなどを見学し、七日に帰国する予定。

(高柳義久)

